

平成 23 年 11 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は生産活動が低調に推移し、全体として厳しい状態が続いているものの、観光関連は引き続き好調であり、雇用情勢も緩やかに改善、個人消費にも持ち直しの動きがみられる。

生産活動は、電子部品関連が低迷し、食品関連は伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額が前年をやや下回った。新車販売台数（乗用車・軽自動車）は前年のエコカー補助金制度の反動減による影響がなくなり、2 カ月連続で前年を上回った。投資関連では、公共工事、民間建築工事、住宅着工いずれも前年を下回った。観光入り込み客数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【生産活動】 … 低調

電子部品関連は、円高の影響や海外との競争激化で厳しさを増し、一部の半導体製造拠点は事業を縮小する方針である。

10 月の**生コン生産（出荷量）**は、公共工事向け、民間工事向け出荷ともに前年を下回り、全体で前年比 5.6% 減と 3 カ月連続で前年を下回った。

10 月の**紙パルプ生産**は、2 カ月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

焼酎の生産・出荷は前年割れが続いているものの、九州新幹線全通効果により土産品に動きがみられる。

9 月の**かつお節生産**は、2 カ月連続で前年を上回った。

【畜産関連】 … 弱含んでいる

肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移している。一方で、子牛価格は宮崎など県外農家の子牛購入意欲が強く、前年を上回った。豚肉相場は出荷頭数の増加により、前年を下回っている。プロイラー相場はもも肉、むね肉ともに弱含んでいる。また、鶏卵相場は前年を下回っている。

【消費関連】 … 持ち直しの動き

9月の大型小売店（百貨店・スーパー）販売は衣料品は前年並み、食料品は前年を上回ったものの、昨年のたばこ増税前の駆け込み需要の反動などが響き、全体では0.6%減と2カ月連続で前年を下回った。

10月の乗用車新車販売台数は、17.3%増となった。前年のエコカー補助金制度の反動減による影響がなくなり、2カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は16.5%増、小型車は18.1%増となった。また、軽自動車は10.1%増と13カ月ぶりに前年を上回った。

【観光関連】 … 好調

10月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、30.3%増と5カ月連続で前年を大幅に上回った。鹿児島地区、指宿地区ともに九州新幹線全通効果などにより前年を上回った。特に指宿地区は関西・山陽・福岡など新幹線沿線や関東からの入り込みが伸び、篤姫ブームに沸いた08年を上回った。また霧島地区も関西や山陽、中部からの入り込みが増え、前年を上回った。種子島・屋久島地区は、団体客が増加し前年を上回った。10月の主要観光施設入場者数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【投資関連】 … 横ばい

10月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

9月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額いずれも前年を下回った。9月の新設住宅着工戸数は、貸家、分譲が前年を上回ったものの、持家が前年を下回り、全体で6.1%減と4カ月ぶりに前年を下回った。10月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3カ月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】 … 輸出は持ち直している

9月の**輸出額**は、タイヤ・チューブが前年を下回ったものの、半導体等電子部品が前年を上回り、全体で25.2%増と8カ月連続で前年を上回った。**輸入額**は、原油及び粗油が前年を上回り、全体で28.4%増と6カ月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】 … 緩やかに改善

9月の**有効求人倍率**は、医療・福祉に加え、卸売・小売業や宿泊・飲食サービス業に採用を増やす動きもみられ、前月を0.01ポイント上回る**0.57倍**と緩やかに改善している。ただ、有効求職者数が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。

【金融情勢】 … 低調

資金需要は、総じて弱含んでいる。

【企業倒産】 … 件数は前年を上回った

10月の**企業倒産**は、件数が6件と前年同月（5件）を上回ったものの、負債総額は16億43百万円と前年同月（29億24百万円）を下回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱鹿児島地域経済研究所（TEL 099-225-7491）